

SORA

web magazine 2016.jul. vol.74



Travel

MICRONESIA

MAP
CLICK!

PALAU

パラオの底力+α

PHOTO & TEXT : KYU FURUMI

王道の中に見るパラオの実力

オアシステラスという新しい提案

tsumi-shima

ダイバーの夢をつみあげていく島

tsumishima.com



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2016
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



マクロアイで量を撮れ！

MICRONESIA
PALAU
パラオの底力+α



「外洋はもちろん良いんですけど、インリーフのポイントの魅力を知ってもらえたらなあと思います」パラオの人気ダイビングサービスOASISの看板ガイド田村沙織さん（以下たむちゃん）が言う。パラオの魅力を挙げだしたらそれこそキリがない。が、やはり多くのダイバーがもっとも期待するのは、ブルーコーナーやジャーマンチャンネルなどのビッグポイントに渦巻く魚群であったり、マンタなどの大型海洋生物だと思う。たしかにそれらは悪くない。いや、むしろ最高だ。でも、更にもっともっとパラオの魅力を導きだすためのヒントが、前述のたむちゃん言葉の中に詰まっているような気がする。

MICRONESIA PALAU パラオの底力+α



今回はコロール島のお店からボートで出航して10数分のポイントを中心に潜った。じっくりと遊べるウォールポイントの「ショートドロップ」や、サンゴと砂地のコンビネーションが楽しい「セントカーディナル」などだ。カレントの影響などもそれほどなく、じっくりと腰を据えて潜ることができるポイントで、そこらじゅうの穴という穴、サンゴの隅から隅まで舐め回すように観察すると、かわいいあの子たちが、大集合の大騒ぎ。サンゴをはじめ、岩に付着する海綿なども多く、絵作りの選択肢が豊富なのも嬉しい。マクロ撮影の練習にもってこいの環境でありながら、これだけの被写体が揃っているのだから、難しいことは考えずにどんどん写真を撮ってもらいたい。まずはとにかく量を撮るべし。



MICRONESIA PALAU

パラオの底力+α



MICRONESIA PALAU

パラオの底力+α

パラオの底力

散々マクロを勤めてきておいて恐縮だが、やっぱりパラオの魚群は凄い。取材時は時期的にはあまり良いタイミングとは言えなかったが、ブルーコーナーではミヤコテングハギの巨大な群れがグレイリーフの群れに追いつまされたり、ツノダシの群れや定番のバラクーダのトルネードがあったりと大満足。やっぱりパラオは凄い。そしてOASISのスタッフ陣が強く勤めるのが、数千匹のカンムリブダイが繰り広げる産卵シーンだ。今回はタイミングに恵まれなかったが、新月のタイミングに合わせると、ほぼ確実にそのシーンに遭遇できるという。壮絶なまでの光景になるそうなので、ぜひ今後はチェックをしてその場に立ち会ってみたい。今後の予定は次のとおりだ。

- 2016年7月31～8月2日
- 8月29日～31日
- 9月28日～30日
- 10月28日～30日
- 11月26日～28日
- 12月26日～28日
- 2017年1月25日～27日
- 2月23日～25日
- 3月25日～27日
- 4月23日～25日



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく





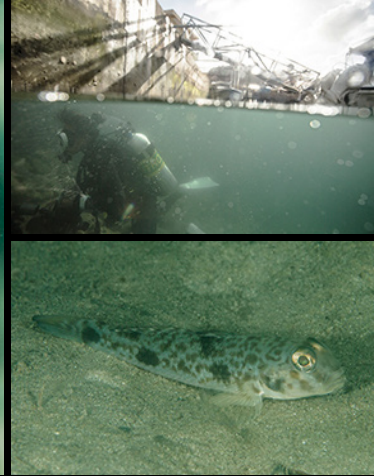
MICRONESIA
PALAU
パラオの底力+α

いま注目のマクロフイールド
「オアシステラス」



MICRONESIA PALAU

パラオの底力+α



パラオらしいダイナミックな海やマクロを存分に満喫したけれども、なんとなくもう少し潜りたいという気分になったことはないだろうか。そんな時に潜りたいのがオアシステラスだ。とても素敵な名前のポイントだが、何を隠そうここはダイビングショップ「OASIS」目の前の船着き場。ここは潜ると絶好のマクロフィールドに様変わりする。目玉生物として推したいのはニシキテグリ。平均でも水深2mほどのエリアの最も浅場。頭が水面に出てしまいそうなほどの壁際には、数多くのニシキテグリが生息する。

基本的にセルフダイビングとなるのだが、じっくり浅場を探して行けば、誰でも探せるほどなので安心。夕方日没のタイミングに潜れば、産卵の瞬間も観られる可能性が高い。もうちょっと潜りたい。ゆっくり写真の練習をしたい。そんなダイバーにはぜひ潜ってもらいたい。ちなみに僕は毎日真っ暗になるまでオアシステラスを潜り続けた。ここはハマりますよ。

MICRONESIA PALAU

パラオの底力+α

2014年に新店舗をオープンさせたダイビングサービス「OASIA」。ポートの出航も目の前。オアシステラスも目の前。必要な施設は全て目の前で完結できる、素晴らしい環境だ。パラオの経験も長いマネージャーの宮下さんをはじめ、今回細やかなガイディングで導いてくれたたむちゃん日本人ガイドもスタンバイ。ファンダイビングはもちろん丁寧な体験ダイビングにも定評があり、ノンダイバーの友人や家族連れでもみんなが楽しむことができる。さらに「OASIA」にはフィッシング部門の「PLUG IN」が併設されているので、釣り好きの方はぜひ大物GTフィッシングにもチャレンジしてもらいたい。

